



MARS T1000

日本語取扱説明書

V1.5.0

日本正規代理店・日本語取扱説明書製作

(株) スタジオ イクイブメント

〒154-0002 東京都世田谷区下馬5-2-10

TEL: 03-3795-3111 FAX: 03-3795-3353

<https://www.studioequipment.co.jp/>

はじめに	2
MARS T1000の主な機能.....	2
用途の例	2
梱包内容	3
オプション（通常セットには含まれておりません）	4
セットアップ	5
機器接続	6
① 4P 3.5 mmヘッドセット端子	6
② 電源入力端子.....	6
③ Intercom 4Wire	6
機器解説	7
A ベースステーション	7
B ベルトパック	7
ディスプレイ解説.....	8
A ベースステーション	8
B ベルトパック	8
ベースステーション メニュー機能説明.....	9
ベルトパック メニュー機能説明.....	11
設置.....	13
① ベースステーションのセッティング.....	13
② ベルトパックのセッティング	14
③ ベルトパックの再登録	15
④ TALLY機能オプション.....	15
⑤ ベースステーションのカスケード接続.....	16
仕様.....	17
FAQ	18
安全上のご注意	18
ノイズが多い場合や音質が悪い場合	18
ベースステーションにベルトパックの情報が表示されない	18
ベースステーションとベルトパック間で音声通話ができない	18
タリー機能が使えない.....	19

はじめに

HOLLYLAND（ホリランド）MARS T1000 フルデュプレックス ワイヤレスインターカムシステムをご購入頂きありがとうございます。

MARS T1000はDECTプロトコル技術により、スタジオ、ステージイベント、EFP (Electric Film Production)、インターネット放送、映画製作などの分野で広く使用されています。同時双方向通信、キャリアグレードの音声品質でありながら、伝送距離は見通しで最大 約300 mまで到達します。

使用する前にこの取扱説明書をお読みください。快適な体験となることを願っています。

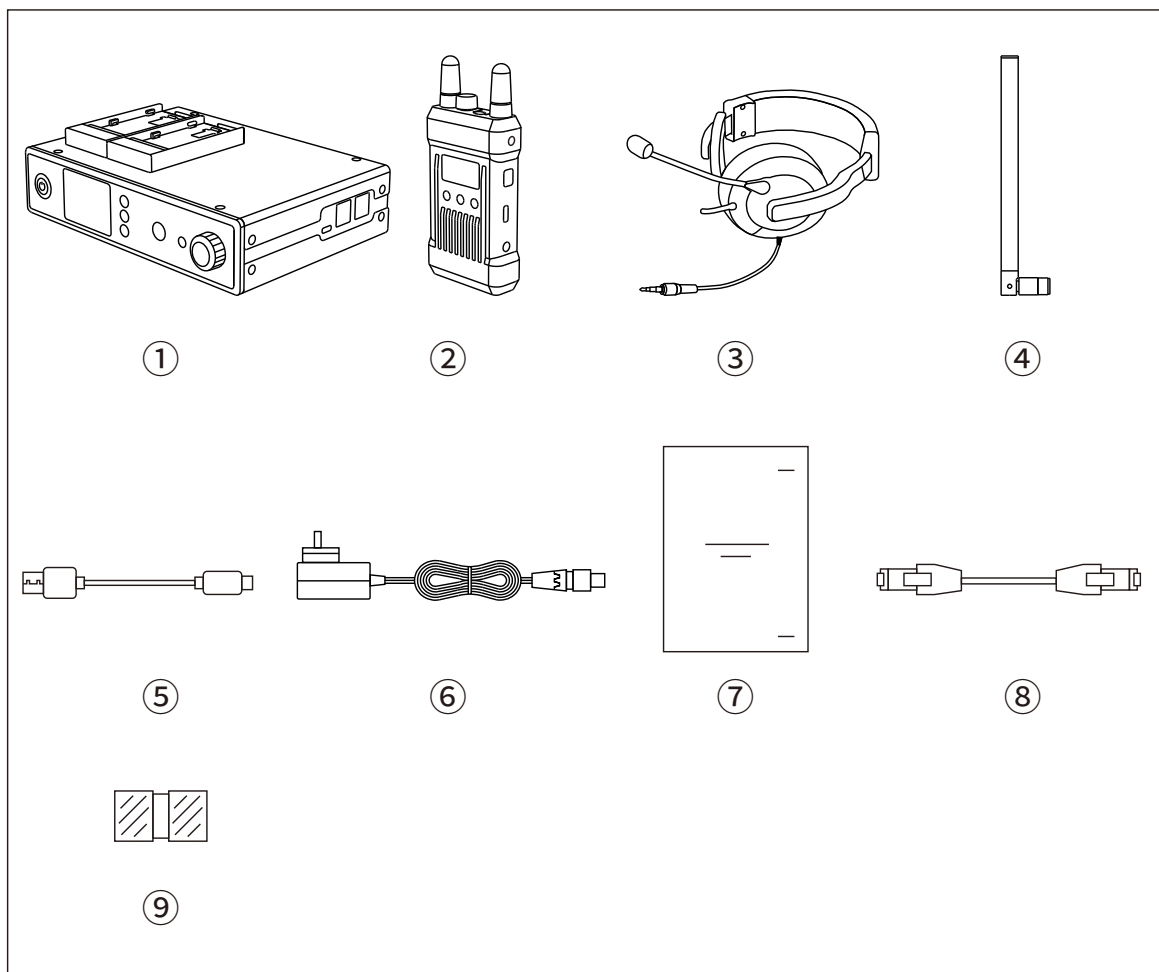
■ MARS T1000の主な機能

- キャリアグレードの音声品質、ベースステーションから見通し直線距離で最大 約300 mの通話範囲
- 1.9 GHz帯の周波数を使用、複数の国や行政区域での周波数設定をサポート。日本の無線機器認証取得済み
- フルデュプレックス（同時双方向）通信が可能
- ベルトパック内蔵のリチウムバッテリーは、満充電で8時間以上の使用が可能
- 最大4台のベルトパックとの同時通話が可能
- 4P 3.5 mmヘッドセット端子を備え、アナログ音声入出力の接続にも対応（ベースステーション）
- 7～36 Vの広範囲な電源電圧入力に対応（ベースステーション）
- ファームウェアアップデート用のUSB Type - Cコネクタ（ベースステーション）
- 安定性と信頼性のある精密加工された金属ケース

■ 用途の例

- 映像制作現場
- ライブ中継
- 企業イベント
- 制作クルーとのコミュニケーション
- ステージ設営
- インターネット放送

梱包内容



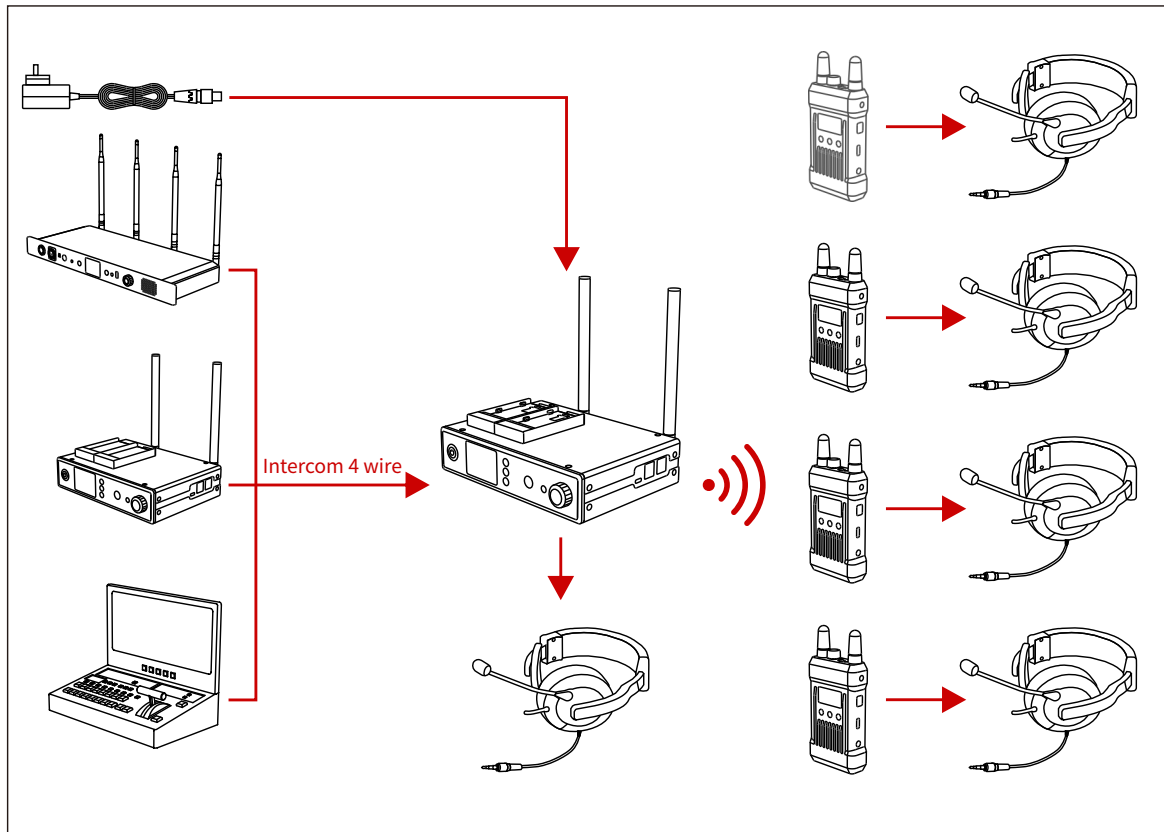
① ベースステーション	x 1
② ベルトパック	x 4
③ 密閉型片耳ヘッドセット	x 5
④ 1.9 GHz高利得ベースステーションアンテナ	x 3
⑤ USB Type - A/Type - Cケーブル	x 4
⑥ 電源用 4ピンXLRアダプター	x 1
⑦ 本取扱説明書	x 1
⑧ 4Wireカスケード専用ネットワークケーブル	x 1
⑨ ネットワークケーブルコネクター	x 1

* 正確な数量は、製品の構成によって異なる場合があります。表示数量は、標準的なものとしてお考えください。

■ オプション（通常セットには含まれておりません）

- ヘッドセット関連
 - エレクトレットタイプ 片耳ヘッドセット
 - エアチューブイヤホン
 - イヤーマフ
 - ダイナミックタイプ 両耳ヘッドセット
- 専用タリーオプション
 - タリーセット（タリーユニバーサル コンバーター、接続ケーブル）
 - 専用外部タリーランプ
- アンテナ
 - デュアル偏波 高利得パネルアンテナ
 - アンテナエクステンダー
- ケース
 - MARS T1000用ハードケース
- 設置関係
 - ラックマウント用1Uパネル
 - ベルトパック用コールドシュー
- チャージャー関係
 - 5ポートUSBベルトパックチャージャー
- ベースステーション用アクセサリ
 - 4Wire/2Wire変換機
 - RJ45-XLRオスメス変換ケーブル

セットアップ



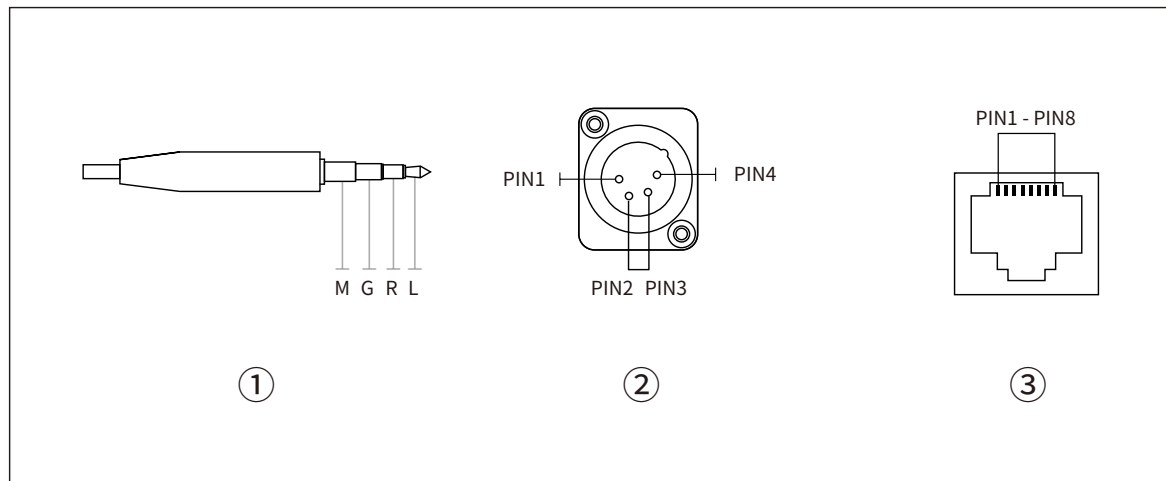
このワイヤレス同時双方向通信システムのベースステーションは、最大4つのベルトパックをサポートしています。

ベースステーションとベルトパックは、ダイナミックマイクとエレクトレットマイクに対応しています。メニューでマイクの種類を選択することにより、切り替えが可能です。

ベースステーションの4ワイヤー音声入出力端子(RJ45)は、他のオーディオ機器との接続を可能にします。

他のオーディオシステムと接続することで、より多くの機器を接続することができます。

ベルトパックの数を増やし、ワイヤレス通信の通話範囲を広げることができます。



① 4P 3.5 mm ヘッドセット端子

接続回路：M (Mic) G (Ground) R (SP R) L (SP L)

マイクインピーダンス：600 Ω

スピーカーインピーダンス：32 Ω

② 電源入力端子

動作電圧：7 ~ 36 V DC

ピン 1：GND

ピン 2：NULL

ピン 3：NULL

ピン 4：POWER

③ Intercom 4Wire

入力インピーダンス：10 k Ω

ピン 1：NULL

ピン 2：NULL

ピン 3：AUDIO OUT +

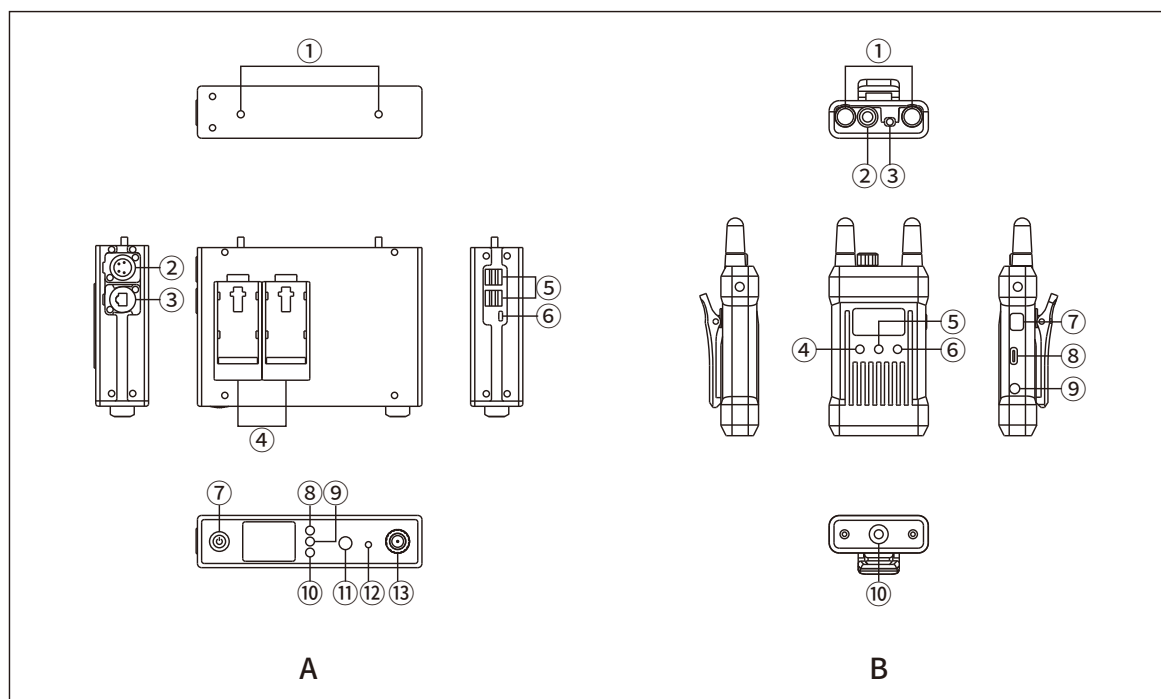
ピン 4：AUDIO IN +

ピン 5：AUDIO IN -

ピン 6：AUDIO OUT -

ピン 7：GND

ピン 8：GND

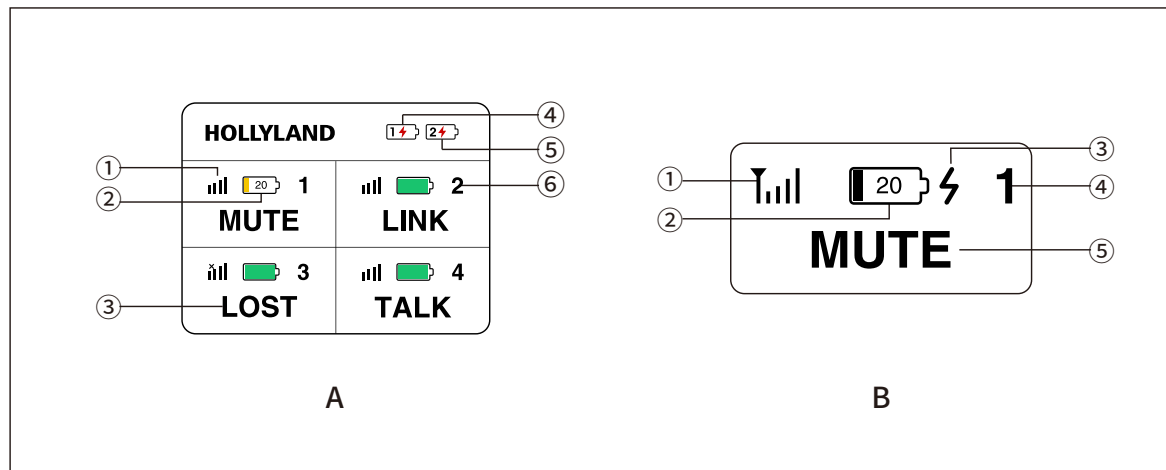


■ A ベースステーション

- ① アンテナ端子
- ② 電源入力端子 (4-Pin XLR Male)
- ③ 4ワイヤー音声入出力端子 (RJ45)
- ④ F970 バッテリー スロット
- ⑤ USB - Type A端子 x 4
(ベルトパック充電/ペアリング/タリー接続用)
- ⑥ USB - Type C 端子
(アップデート & デバッグ用)
- ⑦ 電源スイッチ
- ⑧ 上/左方向 移動ボタン
- ⑨ メニュー/確認ボタン
(長押しでメニュー、ワンクリックで確認)
- ⑩ 下/右方向 移動ボタン
- ⑪ ベルトパック マイク強制ミュートボタン
- ⑫ 4P 3.5 mm ヘッドセットジャック
- ⑬ ベースステーション ヘッドセット音量調整

■ B ベルトパック

- ① アンテナ
- ② 電源スイッチ & 音量調整ノブ
- ③ 4P 3.5 mm ヘッドセットジャック
- ④ 上/左方向 移動ボタン
- ⑤ メニュー/確認ボタン
(長押しでメニュー、ワンクリックで確認)
- ⑥ 下/右方向 移動ボタン
- ⑦ ミュート/トークスイッチボタン
(ダブルクリックでミュート/長押しでトーク)
- ⑧ USB - Type C
(ベルトパック充電・ペアリング/バージョンアップ等接続用)
- ⑨ 3P 3.5 mm ジャック
(オプションの専用外部タリー表示器接続用端子)
- ⑩ カメラ三脚用 1/4インチ ネジ穴

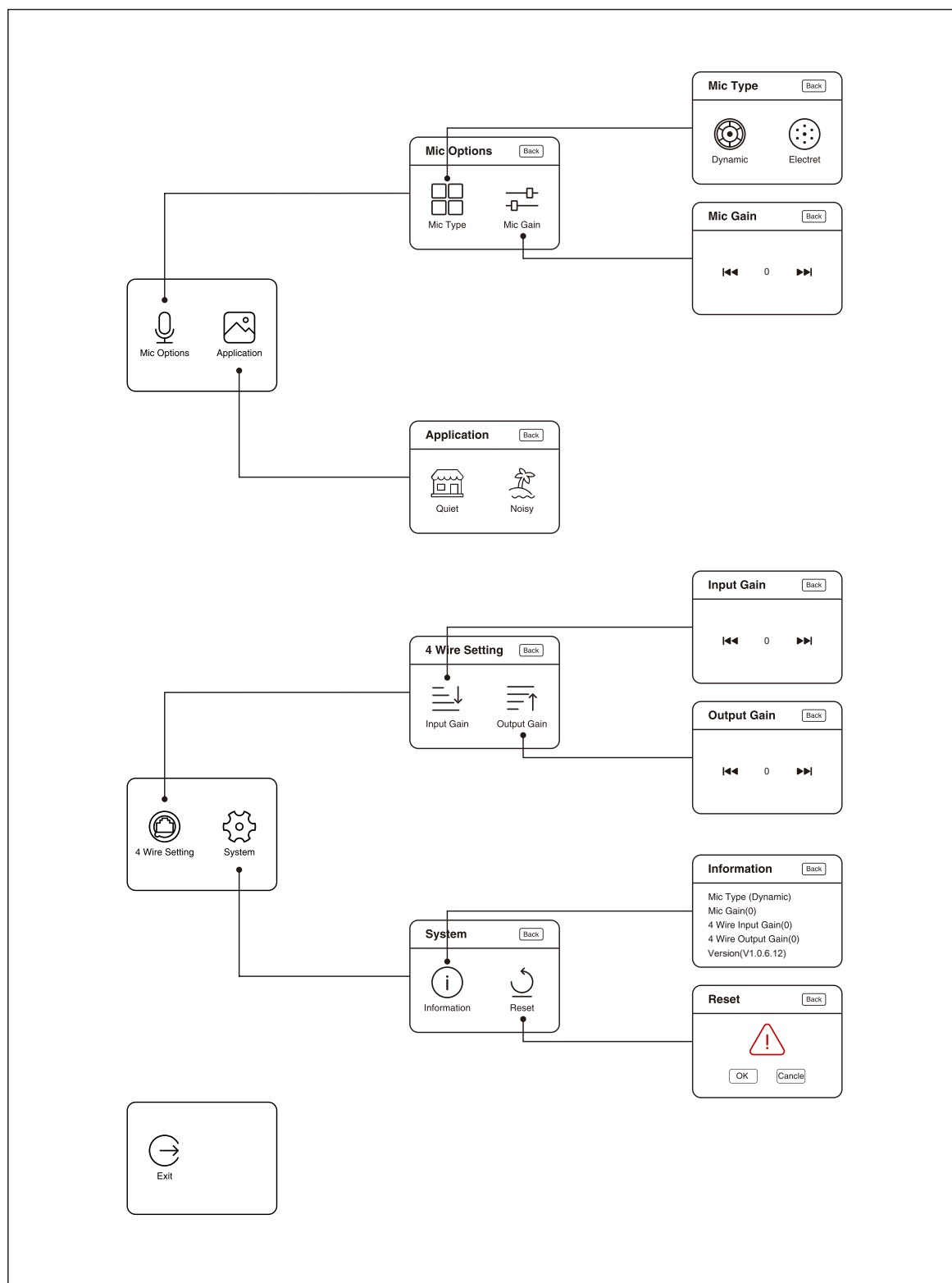


■ A ベースステーション

- ① ベルトパックアンテナ強度表示
- ② ベルトパックバッテリー残量表示
(残量が20%以下になると、～%で表示されます)
- ③ ベルトパックステータス表示
- ④ F970 バッテリー1 残量表示
- ⑤ F970 バッテリー2 残量表示
- ⑥ ベルトパック番号

■ B ベルトパック

- ① ベルトパック受信電界強度表示
- ② ベルトパックバッテリー残量表示
(残量が20%以下になると、～%で表示されます)
- ③ バッテリー充電表示
- ④ ベルトパック番号
- ⑤ ベルトパック ステータス表示



Menu / Confirm / OKボタンの長押しでルート（初期）メニューに入ります。
表示されているフォルダを選択して“OK”ボタンを押すと次のメニューラインに入ります。それぞれの項目については、次ページを参照してください。

■ 1. “Mic Options”を選択して“OK”ボタンを押すと、Mic（マイク設定）のセッティングに入ります。ベースステーションで使用するマイクの設定をおこなうことができます。

- 1-1. “Mic Type”を選択して“OK”ボタンを押すと、マイクの種類の選択メニューに入ります。
 - 1-1-1. “Dynamic”を選択して“OK”ボタンを押すと、ダイナミックマイク モードになります。
 - 1-1-2. “Electret”を選択して“OK”ボタンを押すと、エレクトレットマイク モードになります。
- 1-2. “Mic Gain”を選択して“OK”ボタンを押すと、マイクゲイン設定に入ります。
 - 1-2-1. “Mic Gain”を上げると他のベルトパックで聴こえる音が大きくなり、下げると他のベルトパックで聴こえる音が小さくなります。

■ 2. “Application”を選択して“OK”ボタンを押すと、Scene mode（環境設定）のセッティングに入ります。

- 2-1. 静かな環境の場合は、“Quiet”を選択して“OK”ボタンを押します。
- 2-2. 騒がしい環境の場合は、“Noisy”を選択して“OK”ボタンを押します。

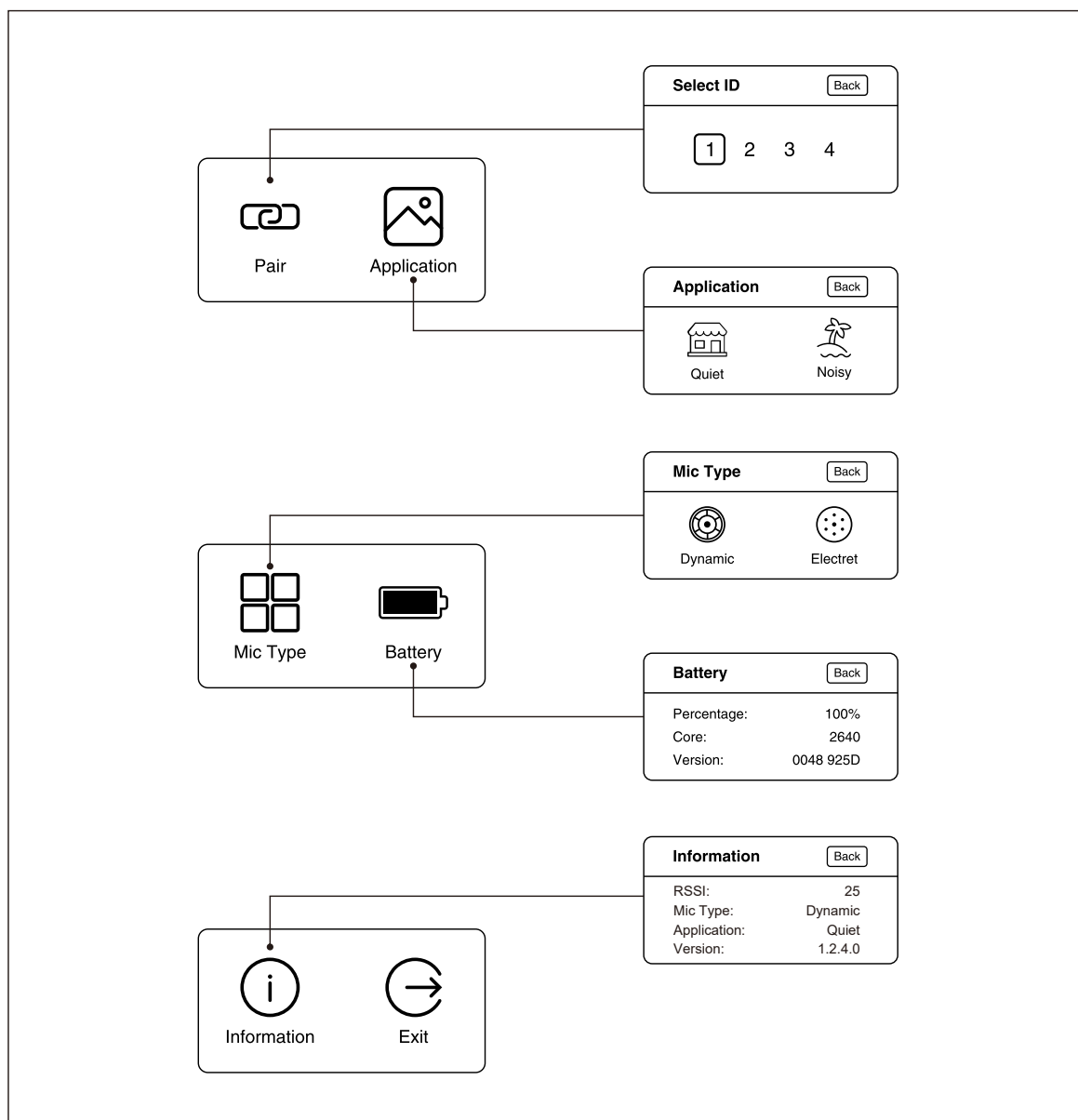
■ 3. “4 Wire Setting”を選択して“OK”ボタンを押すと、4Wire audio（4Wire オーディオ設定）のセッティングに入ります。

- 3-1. 入力レベルを設定する場合は、“Input Gain”を選択して“OK”ボタンを押します。
 - 3-1-1. 入力レベルを上げると、4Wireからの音声のレベルが上がります。
- 3-2. 出力レベルを設定する場合は、“Output Gain”を選択して“OK”ボタンを押します。
 - 3-2-1. 出力レベルを上げると、4Wireへの音声のレベルが上がります。

■ 4. “SYSTEM”を選択して“OK”ボタンを押すと、SYSTEM（システム設定）メニューに入ります。

- 4-1. “Information”を選択して“OK”ボタンを押すと、システム情報メニューに入ります。
 - 4-1-1. “MicType”には、現在のマイクタイプが表示されます。
 - 4-1-2. “Mic Gain”には、現在のマイクゲインが表示されます。
 - 4-1-3. “Input Gain”には、現在の4Wire入力ゲインが表示されます。
 - 4-1-4. “Output Gain”には、現在の4Wire出力ゲインが表示されます。
 - 4-1-5. “Version”には、現在のファームウェアのバージョン番号が表示されます。
- 4-2. “Reset”を選択して“OK”ボタンを押すと、工場出荷時の設定に戻すための確認ダイアログが表示されます。
 - 4-2-1. “Reset”を選択して“OK”ボタンを押すと、すべてのベルトパックの登録情報が削除されて、ベースステーションが初期設定に戻ります。

■ 5. “Exit”を選択して“OK”ボタンを押すと、ルート（初期）メニューに戻ります。



“OK”を3秒間長押ししてルート（初期）メニューに入ります。
 それぞれの項目を選択し、“OK”を押して設定します。それぞれの項目については次ページを参照してください。

■ 1. “Pair”を選択して“OK”ボタンを押すと、Pair（登録機能）メニューに入ります。

- 1-1. ベルトパックを、USBケーブルでベースステーションに接続します。
IDを1~4の中から選択し、“OK”ボタンを押して登録します。“Pairing Successful”と表示されたら、USBケーブルを外してください。

■ 2. “Application”を選択して“OK”ボタンを押すと、Scene mode（環境設定）メニューに入ります。

- 2-1. 静かな環境の場合は、“Quiet”を選択して“OK”ボタンを押します。
- 2-2. 騒がしい環境の場合は、“Noisy”を選択して“OK”ボタンを押します。

■ 3. “Mic Type”を選択して“OK”ボタンを押すと、Mic Type（マイクタイプ選択）メニューに入ります。

- 3-1. “Dynamic”を選択して“OK”ボタンを押し、ダイナミックマイクモードに切り替えます。
- 3-2. “Electret”を選択して“OK”ボタンを押し、エレクトレットマイクモードに切り替えます。

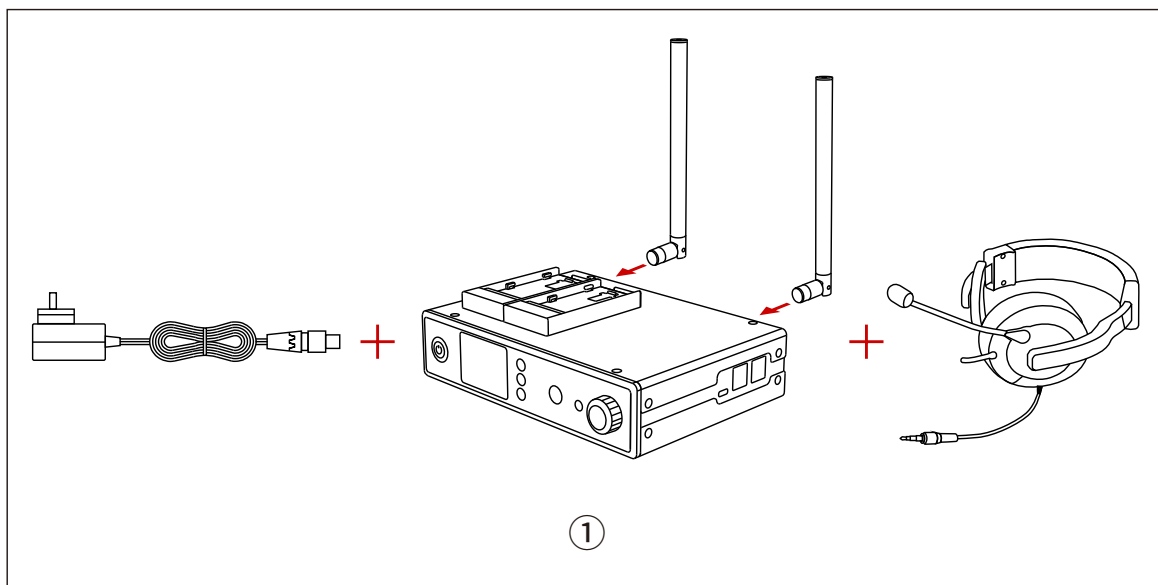
■ 4. “Battery”を選択して“OK”ボタンを押すと、Battery（バッテリー情報）メニューに入ります。

- 4-1. “Percentage”には、現在のバッテリーの残量が表示されます。
- 4-2. “Core”には、現在のバッテリーセルのバージョンが表示されます。
- 4-3. “Version”には、現在のベルトパックのファームウェアのバージョンが表示されます。

■ 5. “Information”を選択して“OK”ボタンを押すと、Information（システム情報）のメニューに入ります。

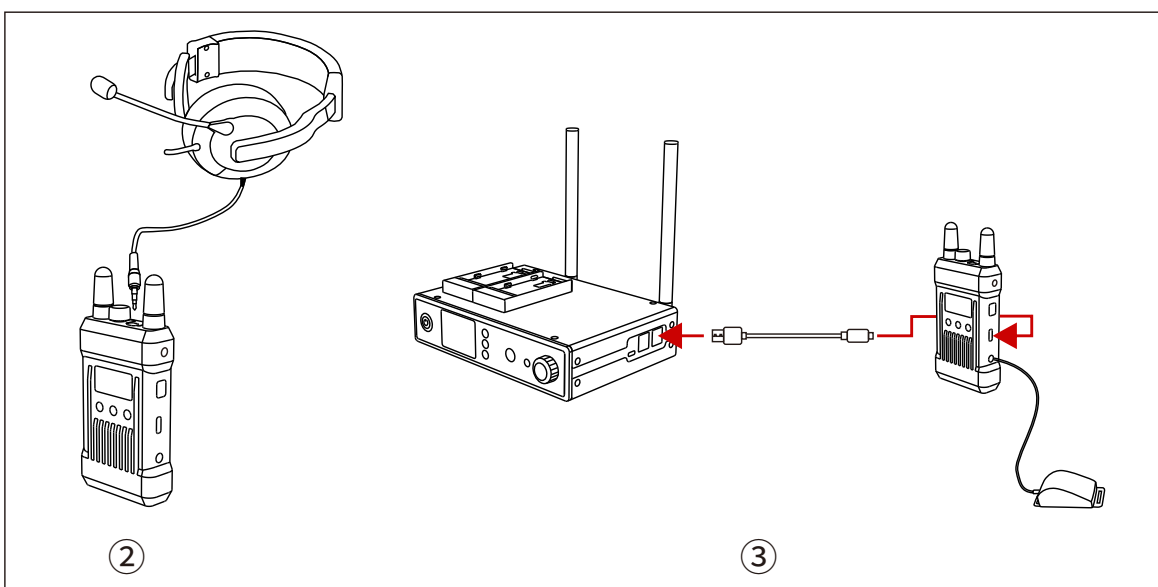
- 5-1. “RSSI (Received Signal Strength Indicator)”には、現在受信している無線電波の強さが表示されます。
- 5-2. “Mic Type”には、現在のマイクの種類が表示されます。
- 5-3. “Application”には、現在の環境設定が表示されます。
- 5-4. “Version”には、現在のファームウェアのバージョンを表示されます。

■ 6. “Exit”を選択して“OK”ボタンを押すと、ルート（初期）メニューに戻ります。



① ベースステーションのセッティング

1. 図のようにアンテナを設置します。
2. 電源アダプターとヘッドホンをそれぞれの端子に接続します。
3. 電源スイッチを押して、電源を入れます。



② ベルトパックのセッティング

1. ヘッドセットを図のように接続します。
2. 電源&音量調整ノブを回して、ベルトパックの電源を入れます。
3. ベルトパックの状態が“LOST”から“MUTE”に変わったら、ベルトパック側面の“MUTE/TALK”ボタンを“長押し”して、“TALK”モードに切り替えて通信してください。

もしベルトパックのオペレーターがベースステーションと通話したくない場合は、ベルトパック側面の“MUTE/TALK”ボタンを“ダブルクリック”して“MUTE”モードに切り替えてください。このモードでもベルトパックのオペレーターは、ベースステーションや他の接続されたベルトパックの間の通話を聞くことはできます。

4. ベースステーションのオペレーターは、“REMOTE MIC KILL”ボタンを押して、すべてのベルトパックの送話を止めることができます。インジケータランプが点灯している間、すべてのベルトパックは“MUTE”モードに切り替わります。

このモードでは、ベルトパック オペレーターは、ベースステーションの音を聞くことができますが、ベルトパックまたはベースステーションと通話することはできません。

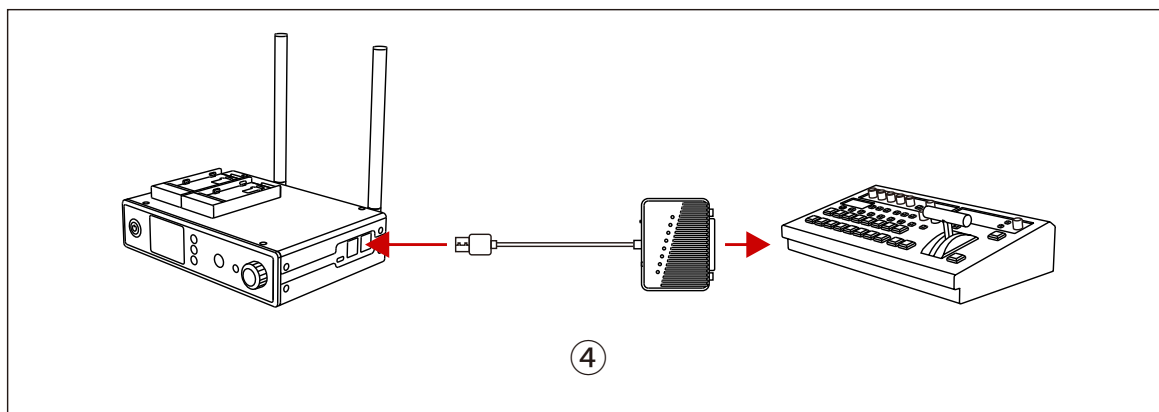
ベルトパック オペレーターがベースステーションと通信したい場合、ベルトパックの側面にある“MUTE/TALK”ボタンを長押しして、ベースステーションを呼び出してください。ベースステーションの“REMOTE MIC KILL”ボタンが赤色に点滅します。

ベースステーションのオペレーターがもう一度“REMOTE MIC KILL”ボタンを押すと、すべてのベルトパックが“TALK”モードに戻ります。

5. “MIC”のデフォルト設定はダイナミックマイクですが、エレクトレットタイプのマイクに変更することができます。“Menu”ボタンを長押ししてマイク設定の項目に入り、マイクの種類を選択します。
6. 4Wire オーディオインターフェースで他のインターカム システムと接続した場合、ユーザーはベースステーションのメニュー画面から4Wireセッティングで入力/出力レベルを調整し、全体のインターカムシステムのゲインバランスを調整することができます。
7. それぞれの環境のノイズレベルの違いにより、ホワイトノイズがかかることがあります。ホワイトノイズは、メニューの“Application”（環境設定）を変更することで調整することができます。
8. バッテリーは長期間放置すると容量が低下する恐れがあるため、重要なイベントを控えている場合は、3回ほどバッテリーの充放電を繰り返した後、使用することをお勧めします。

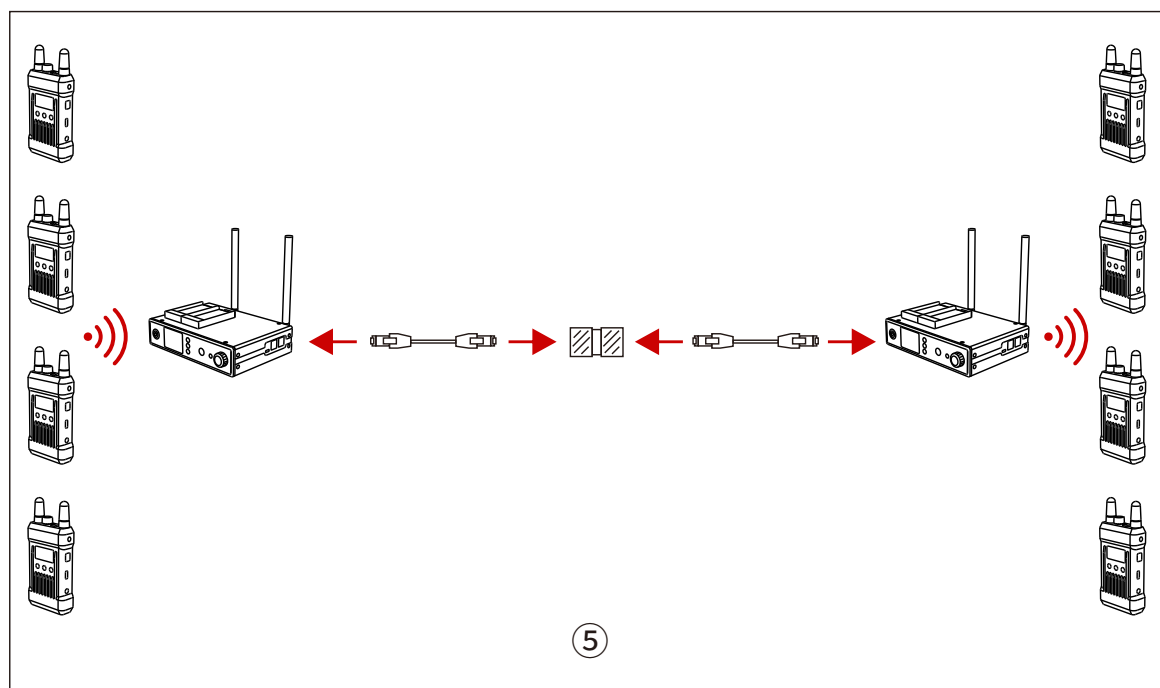
③ ベルトパックの再登録

誤った操作などにより、ベルトパックのIDが失われた場合は以下の手順で再登録をします。
 ベースステーションとベルトパックを付属のUSB Type - Cデータケーブルで接続します。
 “Pair”メニューに入り、マスターステーションに登録するベルトパックに空きID番号を選択すると、メイン画面に“Pairing...”と表示されます。“Pairing Successful”と表示されたら、ケーブルを外します。ベルトパックが再びベースステーションに登録されます。



④ TALLY機能オプション

TALLYユニバーサルコンバーターは、オプションで販売されている専用アクセサリです。
 本製品はタリー機能を備えています。詳細な使用方法は、Universal Signal Converterのクイックガイドをご参照ください。



⑤ ベースステーションのカスケード接続

LANケーブルを使用して、2台のベースステーションをカスケード接続することができます。これにより、同時に会話できるベルトパックの数を増やすことができます。ケーブルは100 mまで延長することができます。

	ベースステーション	ベルトパック
インターフェース	アンテナ端子x2 電源入力端子（4-Pin XLR Male） 3.5 mm ヘッドセットジャック 4Wire 音声入出力端子（RJ45） USB Type - C 端子 USB Type - A 端子 x4	アンテナx2 3.5 mm ヘッドセットジャック 3.5 mm タリー出力ジャック USB Type - C 端子
電源電圧	7 ~ 36 V DC F970 バッテリー	1600 mAh ポリマーリチウムバッテリー
周波数特性	300 Hz ~ 4 kHz	300 Hz ~ 4 kHz
S/N 比	> 50 dB	> 50 dB
歪率	< 2%	< 2%
通信範囲	ベースステーション-ベルトパック間 最大 300 m	ベースステーション-ベルトパック間 最大 300 m
使用周波数帯域	1.9 GHz	1.9 GHz
変調方式	GFSK	GFSK
送信出力	最大 24 dBm	最大 24 dBm
受信感度	$\leq$ - 93 dBm	$\leq$ - 93 dBm
帯域幅	1.728 MHz	1.728 MHz
消費電力	< 4 W	< 0.7 W
寸法	(L x W x H) 220 x 170 x 50 mm	(L x W x H) 100 x 58 x 22 mm
重量	1400 g	180 g
使用温度範囲	0 ~ +40°C（使用時） -20 ~ +60°C（保管時）	0 ~ +40°C（使用時） -20 ~ +60°C（保管時）

■ 安全上のご注意

ベルトパックを加熱機器、調理機器、高圧容器（電子レンジ、IH調理器、電気オーブン、圧力容器など）の上に置かないでください。

電池の過熱や破裂を防ぐため、高圧容器（電子レンジ、電磁調理器、電気オーブン、ヒーター、湯沸かし器、ガスコンロなど）の上にベルトパックを置かないでください。

充電器、データケーブル、電池は、必ず純正のものをご使用ください。

メーカーが認定していない充電器、データケーブル、バッテリーを使用すると、感電、火災、爆発、故障の原因となる場合があります。

■ ノイズが多い場合や音質が悪い場合

1. ベルトパックアンテナが正しく取り付けられ、取り付けネジが緩んでいないことを確認してください。改善されない場合は、アンテナを交換してください。
2. ベルトパックとベースステーションが通信範囲内にあること、またベースステーションとベルトパックの間に障害物がないことを確認してください。
3. ベルトパックの音量調整が低い場合は、快適な音量まで上げてください。
4. インピーダンスや電源電圧が異なるため、一般的には、お客様がお持ちの4P 3.5 mmヘッドホンの使用はお勧めしません。音質が悪い場合は、ヘッドセットを交換してください。

■ ベースステーションにベルトパックの情報が表示されない

1. まず、ベルトパックアンテナが正しく取り付けられ、ネジが緩んでいないか確認してください。改善されない場合は、アンテナを交換してください。
2. ベルトパックの状態を確認してください。ベルトパックの画面に“LOST”と表示された場合、ベルトパックがベースステーションからの送信範囲内にあるかどうか確認してください。
3. ベルトパックの状態を確認します。“NULL”と表示されている場合、ベルトパックの情報が失われています。ベルトパックの再登録が必要です。

■ ベースステーションとベルトパック間で音声通話ができない

1. ベースステーションの“REMOTE MIC KILL”ボタンを確認します。もし点灯している場合はクリックすると設定が解除され、通話は復旧します。
2. ベルトパックの画面で現在の状態を確認します。“MUTE”になっている場合は、本体の“MUTE/TALK”ボタンを長押しして“TALK”に切り替えてください。
3. ヘッドセットが正しく機能しているか、またヘッドセットとマイクを正しく装着しているかどうかを確認します。

正しい装着方法：ヘッドセットを装着し、マイクを口元から人差し指一本分程度離れた位置にセットします。

■ タリー機能が使えない

1. スイッチャーのタイプが正しいか確認してください。タリーインターフェースの規格が業界で統一されていないため、タリーが機能しない場合があります。
2. スイッチャーのタリーコマンド（表示出力）がLow（0 V）で働くのか、High（5 V等の高い電圧）で働くかを確認してください。スイッチャーのコマンド出力に合わせて、ユニバーサルコンバーターのHigh/Low切り替えスイッチの設定を、アクティブLowまたはアクティブHighに設定します。
3. ベルトパックのIDを確認し、タリーコンバーターが、ベースステーションのUSBポートにUSB Type-Aケーブルで正しく接続されていることを確認します。
4. ベルトパックは、MARS T1000 オプションの外部タリーライトのみ対応です。ベルトパックが外部タリーライトに正しく接続されているか確認してください。
5. ユニバーサルコンバーターのD-sub 25コネクターのピン接続表

Channel	Program	Preview	GND
TALLY 1	PIN 1	PIN 14	PIN 13
TALLY 2	PIN 2	PIN 15	
TALLY 3	PIN 3	PIN 16	
TALLY 4	PIN 4	PIN 17	
TALLY 5	PIN 5	PIN 18	
TALLY 6	PIN 6	PIN 19	
TALLY 7	PIN 7	PIN 20	
TALLY 8	PIN 8	PIN 21	





 Hollyland Products User Group

 HollylandTech

 HollylandTech

 support@hollyland-tech.com

 www.hollyland-tech.com

SHENZHEN HOLLYLAND TECHNOLOGY CO., LTD

8F, 5D Building, Skyworth Innovation Valley, Tangtou, Shiyan, Baoan District Shenzhen, China.